

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1596000024		
法人名	株式会社 スワロー		
事業所名	グループホームももの舎		
所在地	新潟県刈羽郡刈羽村刈羽3574-1		
自己評価作成日	令和元年7月9日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/15/index.php?action=kouhyou_detail_2016_022_kani=true&f_ryosyoCd=1596000024-00&PrOfCd=15&VerSiOnCd=022#i11e01
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	令和元年8月20日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- 隣接する小規模多機能事業所の思いを継承したグループホームを目指している。特に利用者を普段の生活を共にするパートナーとして、1日の日課、活動と一緒にいる事を重視している。
- ある程度の日課や業務を定めて、メリハリのある生活や、昔何度も繰り返してきた習慣を継続して行う事で、生活の中で役割を持って、ハリのある生活を送ってもらう事と、健康を維持する支援に繋がっている事。
- 気候や天気の良い日は、毎日1回は外に出る活動を重視している事。(散歩・畑・日光浴・買物・水やり・気分転換等)
- 年4回の地域交流活動を毎年実施している事。(3年目)
- 毎週金曜日、コミュニティー食堂「おおやち」を行っており、その場に参加をしたり、その日に合わせて外食等を計画し、毎週いつもと違った雰囲気や食事や外出していただいている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○事業所理念の共有と実践への取り組み

事業所は閑静な住宅街の中にあり、小規模多機能型事業所と併設で建てられており、越後杉から溢れ出る温かみは事業所全体を包み込み、大きな天上梁はゆったりとした居心地の良い空間を作り出している。今年度事業所では現在の理念を基に原点に立ち返り、定期的に話し合いを重ね理念の再考に向けた取り組みを行っている。この取り組みを通して地域密着型サービスの意義や目的、社会的役割について再確認すると共に、事業所職員全体で意思統一を図る機会となっている。今後も、職員全体で作りあげた理念を共有し、提供する地域密着型サービスの更なる向上を目指した実践が期待される。

○継続的な地域交流と開かれた事業所運営

地域住民の一員として地域の祭りや行事、清掃活動に参加する他、事業所の地域交流室を地域の方々との交流の場として開放している。毎週金曜日のコミュニティ食堂「おおやち」や月1回行う「にこにこカフェ」、年に4回開催する地域交流活動を開催している。「笹団子・ちまき作り」を地域の方々と一緒にいる等の取り組みを通して継続的に交流を深めている。また、単身・老々世帯の増加や認知症高齢者の増加、病院からの早期退院者の増加等地域の課題に常に目を向け、事業所全体で何が出来るか、何をしていくのかについて検討を行っている。地域住民に「ももの舎」があって良かったと思って頂けるよう、地域に根ざした事業所運営が展開されている。

○一人ひとりに合わせた外出支援と日常活動の充実

事業所では、天候の良い日には毎日1回は外に出ることを目標とし支援が行われている。近隣への散歩や日光浴、畑仕事や花壇の手入れと水やり、買い物等、利用者の希望にそって日常的に支援が行われている。外出できない日には、歩行機能の低下を防ぐため事業所と併設する小規模多機能施設内を歩いて回れるよう支援している。また、地域行事への参加や外食に出掛ける等、家族の協力も得ながら実施している。日常の活動では認知症予防のプログラムが提供されており、利用者の心身の状態や希望を見極めながら、体操や歌、制作活動等に参加できるよう支援している。日課は決まっているが、本人の希望や気分によって柔軟に過ごしていただけるよう留意し、日常活動の充実が図られている。